

* 昨年の関東は6月に梅雨明け宣言があり、猛暑となりました。平年は7月20日前後ですが、6月の梅雨明けは初めてという事でニュースにもなりました。真夏が続き、熱帯夜、熱中症で運ばれる人も続出しましたが、今年は一転6月下旬から日照時間が少ない状態が続きのままだと作物にも影響がでそうと心配する声がかかります。早く梅雨が明け蝉しぐれの夏になるといいですね。



東港金属株式会社

東京都大田区京浜島2-20-4

電話 03-3790-1751

URL <https://www.tokometal.co.jp/>

(見学受付)

電話03-3790-1751 又は 各営業担当

* 7月 東京では朝顔市、ほうずき市と祭事が続き、そして天体の大行事 七夕です。ロマンあふれる行事ですが、IT時代の若い人たちは興味持つかと気になります。でも、以前浅草寺を訪ねた時感じたのは、①外国人が増えている②若い女性が増えている。その外国人も、若い女性も浴衣姿で仲見世を歩いている人が増えています。そして、おみくじ売場には山のような人だかり。浅草寺のおみくじは他の寺社に比べて「凶」が多いとの評判ですが、ロマンを求める人々には関係ないようでした。ゆかた姿に雨は可哀そう。晴れる七夕を祈りましょう。

* 東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物処理を“いつでも”お受け致します。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。

営業部 Y の考察

☆羅針盤 鉄・非鉄スクラップ・市況からの7月予測



鉄スクラップ → 考察) 6月は米中貿易摩擦、東京製鉄宇都宮工場の特急価格29,000円/トンでスタートし小刻みに下落。最終的には26,500円/トンまで下がりました。7月は、米中貿易問題や国内電炉メーカーの減産もあるため、上げは望めませんが、輸出価格が多少上がっているため、横ばいでしょう。



銅 → 考察) 6月のLME5,800ドル/トン、国内銅建値は30,000円引き下げの670,000円/トンでスタート、最終的にはLME6,050ドル、国内銅建値690,000円/トン。7月は、米中の貿易摩擦の拡大・景気減速による下げ要因があるなか、円安やチリの世界最大級の鉱山会社の減産による上げ要因から横ばいと思われる。



アルミ → 考察) 6月はLME1,780ドル/トン台でスタートし、最終的には1,800ドル/トン台。LMEの在庫は減っているものの、相変わらずの新塊の価格が安くしかも2次合金メーカーの買い意欲も上がらないため多少は下がると予想。

プラスチック → 考察) 中国以外の輸出先もほとんどなくなり国内処理の需要が高くなっています。雑品輸出も同様。さらに木くずの受け入れ先もかなりタイになっていて、焼却場への移行も増えています。現在は、廃棄物の発生が減っていますが増税前の駆け込み廃棄が増えるため処理先の確保が急務になるでしょう。

予測つかず

6月予測の自己評価

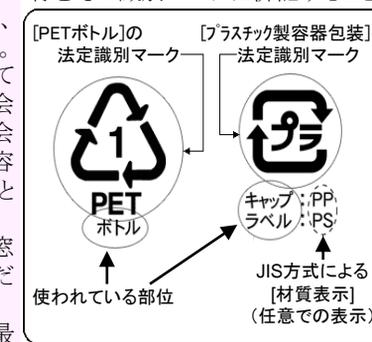
鉄スクラップ × アルミ ○
銅 × プラスチック -

☆羅針盤

プラスチック製品の識別表示

中国が廃プラスチックの輸入禁止を行ったため、行き場を失った廃プラスチックは、日本国内での処理量が増えることとなるでしょう。「混ぜればごみ、分ければ資源」の標語を聞いて久しいですが、プラスチックは種類が多く、その選別が難しいとされておりました。その対応として、家庭でよく使われ廃棄される量の多い容器包装類については、識別のための表示が法律で定められています。

ペットボトルを例にすると、容器包装の識別表示マークは、ほぼ同時に捨てられる構成部分についてはまとめていずれかの部分に一括して表示をすることが認められているので、通常、ボトル・キャップ・ラベルの3点をラベルに一括して印刷表示する方法が採用されています。また、一括表示を採用する場合は、使われている構成部分(部位)の名称をその識別マークに併記することも法律で義務付けられています。



「PET」の識別表示マークはボトルが指定PETボトルであることを示しています。「プラ」の識別表示マークはキャップとラベルがその他プラスチック容器包装であることを示しています。ボトルはPETボトルのリサイクルに、キャップとラベルはプラスチック製容器包装のリサイクルへと、別々に再商品化されるので、「PET」と「プラ」の2つの識別表示マークが付されているのです。

材質の表示は、JIS(日本工業規格)で決められた略語でよいことになっており、例ではPETがポリエチレンテレフタレート(ペット)、PETPPがポリプロピレン、PSがポリスチレンとなります。

以上が容器包装の識別表示の簡単な説明ですが、もう一つ身近な家電製品においては家電リサイクル法が施行され、毎年1千万台以上の使用済み家電製品(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)がリサイクルプラントで適正に処理されています。

リサイクルプラントでは、家電製品の解体、分別、および材料の回収における作業の安全性の確保、作業効率および回収率の向上とその正確な分別を行うため、部品にリサイクルする上で役に立つ情報を明示することが必要となりました。今回のテーマであるプラスチック材はJISによる表示方法で、区切りマーク“>”及び“<”で記号又は略語を製品(部品)表面のいずれかの位置に表示し選別の助けとしております。例えば“>PS<”はポリスチレン製であることを示しております。

以上、身近な製品でのプラスチック識別表示について簡単に説明いたしました。最近では、識別表示マーク以外にもリサイクル促進のためのマークを多く見ることが出来ます。改めて様々なマークの意味を深堀するのも面白いのではないのでしょうか。

出典: 識別表示マーク(PETボトルリサイクル推進協会) 家電製品のプラスチック等部品の表示およびリサイクルマークのガイドライン(家電製品協会)

東港金属との出会い(3)

営業部 石川 幸子

営業管理課の石川でございます。今回は東港金属とご縁が出来て出勤初日で“めげた”お話をしましたが、その続きで、今回は暗い気持ちでのスタートとなります。

出勤初日で気持ちが落ち込み、定時に会社を後にしましたが、外に出た瞬間、不思議と開放感に包まれました。何故なら、考えは決まっていたからです。とは言っても、やはり気持ちは沈んでいました。自宅に戻り家事もやる気がおきず、翌朝を迎えました。たかが1日での勤務で、偉そうに退職ではありませんが、電話で会社にその意思を伝えました。当時の担当部長からは「どうしましたか、何かありましたか」と声をかけて頂きましたが、正直に「会社の雰囲気になじめません。このままでは会社に迷惑をかけてしまうので」と、その日は電話を切りました。翌日、会社から「窓口業務はどうでしょうか」との連絡を頂きました。業務の内容が原因ではないのですが、何故か断る事ができず、窓口業務として翌日から勤務が始まりました。

前号の通り、台貫棟は受付窓口事務所を兼ねておりました。現在の窓口とは違いハイカウンターでのお客対応でした。もちろん、窓口業務だけではなく、台貫業務も担当しました。

台貫業務は、そうそう簡単ではありません。どの仕事もそうですが、最初は覚える事が盛りだくさん、まして特殊な職種ですので、業界用語に慣れるのに大変でした。台貫ではその言葉が聞き取れなくては、入力する事が出来ません。今は、ベテランの事務の方がおりますが、ただただ尊敬です。

早速、マニガン(産業廃棄物のマニフェスト専用印字機)の練習から始めました。皆さんも聞き慣れた「ガチャン」です。ある時、「何故ガチャンと呼んでいるのか」と事務員に尋ねると、マニガンを打つ時の音が「ガチャン」とするからだそうです。なるほど・

そんな余談はともかく、日々、ひたすらマニガンの練習を行いました。おかげで練習の甲斐あり、すぐに習得する事が出来ました。

当時は、研修など無く、すぐさま実践での習得で、がむしゃらにメモを取った事を思い出します。やはり、自分から話す事はできず、気持ちが晴れて仕事をしたことはありませんでしたが、すぐに次の業務の習得に入ります。それが、出荷に携わる二次マニフェスト全般の業務でした。基本的な業務の流れが分からない状況での二次マニフェストは、全く未知の世界の業務でした。ですが、私にとっては、この業務の習得こそが、自分を変えてくれた事務の方との出会いでした。

その方は、私の性格を見抜いており、プライベートでも色々誘って下さいました。次第に会社にも業務にも慣れて、これを機に現場の方とも話す事ができ、いよいよ、本格的な業務スタートとなります。ではまた・